

(社) 日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会
第 16 回 返還廃棄物確認分科会 (F11SC) 議事録

1. 日時 2010 年 5 月 18 日 (火) 13 : 30 ~ 15 : 25
2. 場所 日本原子力技術協会 会議室 C, D
3. 出席者 (順不同, 敬称略)
(出席委員) 井口 (主査), 田辺 (副主査), 森本 (幹事), 池田, 奥田, 櫻井, 高橋,
能浦, 藤田, 山名 (14:15~), 吉田, 吉村 (12 名)
(代理出席委員) 加藤(眞) (明里委員代理), 山口(恭) (越智委員代理),
川崎 (加藤(正)委員代理) (3 名)
(欠席委員) 塩見, 中條 (2 名)
(出席常時参加者) 佐藤, 安田, 菅野, 山口(隆), 金木 (5 名)
(欠席常時参加者) 川崎, 津嶋 (2 名)
(傍聴者) 小林 (1 名)
(事務局) 谷井 (1 名)
4. 配付資料
F11SC16-1 : 第 15 回返還廃棄物確認分科会議事録 (案)
F11SC16-2 : 標準委員会活動状況
F11SC16-3 : 「返還廃棄物の確認に関する基本的考え方」標準改定案に対する分科
会委員のご意見・コメント対応 (案)
F11SC16-4-1 : 日本原子力学会標準「返還廃棄物の確認に関する基本的考え方 : 20XX」
改定案
F11SC16-4-2 : 日本原子力学会標準「返還廃棄物の確認に関する基本的考え方」新旧対
比表
F11SC16-5-1 : 【中間報告】「返還廃棄物の確認に関する基本的考え方」改定の概要
F11SC16-5-2 : 【中間報告】「返還廃棄物の確認に関する基本的考え方」改定案 (概要)
5. 議事
 - (1) 出席委員の確認
事務局より, 開始時において 17 名の委員中, 代理委員 3 名を含め 14 名の出席があり,
決議に必要な委員数 (12 名以上) を満足している旨の報告があった。
 - (2) 前回議事録案の確認 (F11SC16-1)

森本幹事より、前回議事録案について説明があり、承認された。

(3) 標準委員会の活動状況

事務局より、F11SC16-2 に沿って、標準委員会における標準原案の審議概況が紹介された。

(4) 分科会委員コメントへの対応案及び標準改定案

森本幹事、池田委員、安田常時参加者及び佐藤常時参加者より、前回分科会以降に分科会委員より提出された、標準改定案に対する意見・コメントへの対応案及び対応案を反映した標準改定案について、F11SC16-3, F11SC16-4-1 及び F11SC16-4-2 に沿って説明があった。

説明後、対応案を反映した標準改定案について、次回の原子燃料サイクル専門部会に、中間報告として報告することについて挙手による決議を行い、全会一致で可決された。

質疑応答及びコメントは以下の通り。

- ・ F11SC16-3 のコメント No. 20 について、検査による確認を対象とするという趣旨ではないとしているが、表 1～3 には検査による確認が含まれており違和感がある。
「表 1～3 の要求事項との整合をとるならば、」を削除して欲しい。
- ・ 附属書 D の参考文献の記載において、出版日付不明との記載があるが、これでもいいか。
→ JIS Z 8301 に、ホームページによるものでこのような記載例がある。
- ・ F11SC16-4-2 の p. 64 の表 H. 2, p. 65 表 H. 3 において、「返還廃棄物受入者」の空欄部分は、確認を実施しないことを示すのであれば、表 H. 1 と同様に「-」を入れた方がよい。
- ・ F11SC16-4-2 の p. 67 の表 I. 1 の「表面汚染密度」の単位 Bq/cm² の 2 が上付きになっていない。
- ・ 前回分科会時の改定案にて附属書 L に記載した「安心感を得るための方法の例」については、解説「6 その他の事項」に移しているがよいか。
→ 「安心感を得るための」などの社会的な話を書くのはあまりよろしくないのでは。
→ 念のための実施事項であり、推奨にも値しない事項であるので解説とした。
→ 違和感はない。
- ・ 解説「2 審議中に問題となった事項など」に審議中に議論になった事項を記載するが、解説「6 その他の事項」に記載した内容は前回分科会で悩んだ事項であり、経緯を記載するのも意味がないか。
→ 必要ないと思う。
- ・ 提案いただいたパターンで改定原案をまとめることとする。

(5) 中間報告案

森本幹事より，次回の原子燃料サイクル専門部会への中間報告時の資料として，F11SC16- 5-1 及び F11SC16-5-2 を説明。質疑応答は以下の通り。

- ・ F11SC16-5-2 の p.3 返還廃棄物の概要（返還廃棄物の全体概要）について，低レベル廃棄物受入れ・貯蔵施設の方は 2013 年度以降受入れ開始予定であるが，その後は確定していない。2013 年の輸送開始予定として，受入れが高レベル放射性廃棄物貯蔵センターと低レベル廃棄物受入れ・貯蔵施設になるという形にすべき。
- ・ F11SC16-5-1 の工程表で「CSD-B」と記載されているが，ここにしか記載されていないので，合わせた方がいいのでは。

6. その他

次回分科会は，8月11日（水）午後を開催することとした。

以 上